

大会名：第8回全日本一般男子ソフトボール大会、大阪予選会

準決勝

会場：大阪狭山市第3青少年運動広場

試合日：平成23年 7月17日

試合戦評 **ブルーインパルス、そつなく攻め決勝進出** !

ブルーインパルスは初回、相手前村投手の立ち上がりを攻め4番服部の左中間二塁打等で3点を先制。試合を有利に進めると、4回、松本(章)の左翼線二塁打、6回松本(直)の犠飛で駄目押しの追加点を挙げ勝利した。

一方、ベッセルズも初回、田内の2点適時打で追い上げを見せるが、その後寺西投手を攻め切れず、7回一死満塁の好機を作り粘り強く攻めたが一步及ばず攻め切れなかった。

記載者 新谷義弘

準決勝

試合戦評 **フレッシュ茨木、初回の集中打で決勝進出** !

フレッシュ茨木は1回、1番東の二塁打で口火を切り、7安打を集中。東が駄目押しの3ランを放つなど打者12人を送る猛攻で大量8点を挙げ、初回で試合を決めた。

一方、壮年桃次郎は岡村投手の前に、1、2回戦の強打が見られず、散発の2安打に抑えられ反撃の糸口を見出せないまま敗れた。

記載者 富士元元子

3位決定戦

試合戦評 **壮年大阪桃次郎13安打猛打で快勝** !

壮年大阪桃次郎は1回、松田の先頭打者左翼本塁打で先制。3回、4回にも加点すると、5回には5安打と犠飛を絡め4点を挙げコールド勝ちを収めた。

一方、ベッセルズも初回土井、青木の安打後、5番田内の適時打で1点を返し、その後の攻撃に期待を寄せた。しかし、3回以降走者を出すものの壮年桃次郎に2度の併殺に阻まれ反撃を断たれた。

記載者 新谷義弘

決勝

試合戦評 **ブルーインパルス！歓喜の逆転初優勝** !!

決勝戦にふさわしく序盤から中盤にかけ、1点を争う好ゲームを展開。ブルーインパルスは、1点を追う7回、網野・寺西(康)・服部の3連打で2点を奪い底力を見せ逆転。リリーフした寺西(康)が最終回の攻撃を無得点に抑え、初の栄冠を手にした。

一方、フレッシュ茨木は3点を追う3回、田原の3ランですかさず同点とし、5回には逆転と粘りを見せたがあと一步及ばなかった。

記載者 富士元元子